

令和6年度事業計画書

当財団は、定款の定めるところにより、廃棄物を適正に処理し、資源循環型社会の形成に資する事業を推進するとともに、広く公共の福祉の見地から公衆衛生の向上を図ることにより、住民の健康で文化的な生活環境の確保に寄与することを目的として次の事業を行う。

I 公益目的事業（各事業の予算額は、法人会計への区分額を含む。）

1 ごみ収集運搬業務

当年度予算 842,819 千円	前年度予算 809,584 千円
(844,540 千円)	(810,538 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

(1) 家庭系ごみ

福岡市から委託を受け、家庭から排出されるごみ（可燃性ごみ、不燃性ごみ、空きびん・ペットボトル、粗大ごみ）の収集運搬を行う。

【収集地区予定世帯数】

（単位：世帯）

区 分	収集地区	令和6年度	令和5年度
東 区	香椎照葉	5,612	5,248
中央区	地行浜	543	546
早良区	百道浜	3,476	3,508
西 区	愛宕浜	3,619	3,609
計		13,250	12,911

(2) 事業系ごみ

福岡市から許可を受け、事業所から排出されるごみ（可燃性ごみ、不燃性ごみ、古紙）の収集運搬及びごみ処理料金の収納を行う。

【収集地区予定契約件数】

（単位：件）

区 分	収集地区	令和6年度	令和5年度
東 区	香椎照葉、香椎浜ふ頭、 みなと香椎	186	170
中央区	舞鶴、地行浜 外	2,105	2,043
南 区	井尻、大橋、弥永 外	1,178	1,154
早良区	百道浜	90	89
西 区	愛宕浜、小戸	60	56
計		3,619	3,512

(3) 公共施設等の資源物収集運搬業務

福岡市から委託を受け、区役所や市民センター等の資源物回収拠点で回収された空きびんやペットボトルなどの資源物を収集し、指定された場所へ運搬する。

また、令和5年度に引き続き、福岡市が実施するプラスチック製品回収モデル事業について、同拠点で回収されるプラスチック製品の収集運搬を行う。

(4) 災害廃棄物の収集・運搬支援

福岡市と締結した「災害廃棄物の収集・運搬支援に関する協定書」に基づき、人員体制の構築及び人材の育成等により災害対応力を強化するとともに、福岡市から協力要請を受けた場合に、被災都市における災害廃棄物の収集・運搬支援を行う。

(5) 燃料電池車によるごみ収集運搬業務

福岡市から委託を受け、FC(水素燃料電池)ごみ収集車による家庭系ごみの収集運搬を行う。

(6) 食品廃棄物の収集運搬

循環型社会の推進に向けて、事業所から分別して排出される食品廃棄物を、リサイクル施設に搬入し資源化を推進する。

2 福岡市家庭系ごみ処理手数料徴収事務

当年度予算	前年度予算
865,816 千円	870,650 千円
(865,816 千円)	(870,650 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

福岡市から委託を受け、指定袋(家庭用ごみ袋)の調達、保管及び指定袋取扱店(小売店)への配送を行うとともに、ごみ処理手数料の調定、収納を行う。

また、令和5年度に引き続き、バイオマスプラスチックを配合した可燃物用指定袋の調達をモデル事業として行うとともに、令和6年度から新たに可燃物用指定袋に10Lサイズの試行導入及びレジ袋の代わりに指定袋を販売する「ばら売り(10L、15L)」の試行実施に取り組む。

【調達予定枚数】

(単位：千枚)

区分	令和6年度	令和5年度
可燃物用	91,566	91,100
不燃物用	7,564	6,800
空きびん・ペットボトル用	7,606	6,200
計	106,736	104,100

3 福岡市粗大ごみ受付センター業務等

132,206 千円	128,181 千円
(132,206 千円)	(128,181 千円)

福岡市から委託を受け、家庭から排出される粗大ごみの収集受付を電話、ファックス、インターネット、LINEにより行うとともに、ごみ処理全般に関する市民からの相談・要望等への対応を行う。

4 福岡市粗大ごみ処理手数料収納事務

当年度予算	前年度予算
39,460 千円	39,924 千円
(39,460 千円)	(39,924 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

福岡市から委託を受け、粗大ごみ処理券（300 円券、500 円券、1,000 円券）を市指定の取扱店（コンビニ、個人商店等）に納品するとともに、粗大ごみ処理手数料の収納を行う。

5 福岡市し尿収集運搬業務

188,276 千円	185,325 千円
(188,276 千円)	(185,325 千円)

福岡市から委託を受け、家庭や事業所のし尿収集（定期収集）及び工事現場や福岡マラソンをはじめとするイベント会場に仮設されたトイレのし尿収集（臨時収集）を行う。

【収集予定数】

（単位：世帯、件）

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度
定期収集世帯数	1,080	1,149
臨時収集件数	13,800	13,800

6 福岡市し尿処理手数料徴収事務

55,224 千円	55,464 千円
(55,224 千円)	(55,464 千円)

福岡市から委託を受け、し尿処理手数料の調定、収納を行う。

7 福岡市葬祭場管理運営業務

644,535 千円	616,718 千円
(644,535 千円)	(616,718 千円)

指定管理者として、里山等の緑豊かな環境に囲まれ市民に安らぎとゆとりを与える「刻の森・福岡市葬祭場」において、厳粛な場に相応しい接遇とサービスの提供に努め、火葬予約受付、火葬料等の徴収、会葬者案内、火葬施設等の維持管理を行う。

あわせて、令和 7 年度指定管理者選定にむけて、申請を行う。

8 排水設備完了検査業務

50,354 千円	47,453 千円
(61,891 千円)	(59,895 千円)

福岡市、古賀市及び糟屋郡 5 町（宇美町、篠栗町、須恵町、久山町、粕屋町）から委託を受け、排水設備（家庭等から出る汚水及び雨水を公共下水道に排水するための設備）の新設等に係る工事の完了検査を行う。

9 福岡市西部3Rステーション管理運営業務

当年度予算	前年度予算
60,289 千円	51,575 千円
(51,601 千円)	(51,601 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

指定管理者として、福岡市西部3Rステーションの管理運営を行う。事業としては、重点的に減量に取り組む3品目「古紙」、「プラスチックごみ」、「食品廃棄物」を中心に、3R（リデュース・リユース・リサイクル）に関する啓発や情報発信、講座・イベントの開催、不用品の引取・提供等、循環型社会の形成に資する事業を企画、実施する。

また、地域や環境活動団体のみならず企業や学生等とも連携・共働し、より広く市民への啓発活動を展開するとともに地域で活動するリーダーやボランティア等の人材育成を行う。

【来館者数等】 (単位：人)

区 分	令和6年度目標	令和5年度見込み
施設内事業利用者	49,500	48,000
施設外事業利用者	5,000	5,500
計	54,500	53,500

10 自主事業

73,975 千円	41,681 千円
(43,216 千円)	(11,192 千円)

(1) 廃棄物埋立管理技術普及啓発事業

(独)国際協力機構からの委託により、開発途上国から研修員を受入れ、準好気性埋立構造（福岡方式）による廃棄物埋め立て管理技術についての実技研修等を行う。

また、福岡方式グローバルネットワークの取組みとして、「福岡方式」に携わる技術者を対象に国内専門家向けの研修を実施し、「福岡方式」の適正な技術の理解と的確な技術移転の推進を促す。

(2) 環境学習事業

小学生をはじめ、広く市民を対象にごみ減量や環境問題に関する啓発を行うため、放課後児童クラブ出前講座等の環境学習事業を実施する。また、令和5年度から、福岡市の「環境教育・学習人材リスト」に登録している人材等を講師として派遣する「環境わくわく出前授業」を受託しており、令和6年度も継続予定である。

【実施予定数】 (単位：回)

区 分	令和6年度	令和5年度
放課後児童クラブ出前講座	25	25
環境わくわく出前授業	50	40

(3) 環境啓発事業

環境意識の向上を図ることを目的に、小学生とその保護者を対象に夜間ごみ収集の見学を行う「ごみ収集ミッドナイトツアー」を開催する。

また、福岡市が実施する環境フェスティバルやラブアース・クリーンアップ等の環境啓発イベントに参画するなど、環境分野における市民啓発活動を行う。

【実施予定数】

(単位：組)

区 分	令和6年度	令和5年度
ごみ収集ミッドナイトツアー	30	30

(4) 食品廃棄物資源化推進事業

食品廃棄物の更なる削減に向け、これまで小学生などを対象に実施してきた段ボールコンポスト学習事業に加え、家庭で生ごみの堆肥化に取り組む市民に生ごみ堆肥化容器等の購入費の補助を行うとともに、食品廃棄物の資源化に取り組む中小事業者に、食品廃棄物の分別に伴うごみ保管場所の新設・改修に要した費用や事業用生ごみ処理機（堆肥化）の購入・設置に係る費用を補助する。

【実施予定数】

(単位：回)

区 分	令和6年度	令和5年度
コンポスト学習事業	10	10

【補助予定数】

(単位：件)

区 分	令和6年度
家庭向け生ごみ堆肥化容器 購入補助金	430
事業系食品廃棄物 保管場所整備費の補助	50
中小事業者向け 生ごみ処理機(堆肥化)の購入補助	50

(5) 環境に関する調査・研究等

広く公共の福祉の見地から、公衆衛生の向上を図ることにより、住民の健康で文化的な生活環境の確保に寄与することができるよう、環境に関する調査研究を行うとともに、脱炭素社会の実現に向けた取組みや財団の将来を見据えた検討を行う。

① 脱炭素につながるアクション啓発・支援事業

地球規模で求められている海洋プラスチックごみ問題や食品ロス問題への対応について、課題解決に取り組んでいる団体と市民が「関わり、考え、学ぶ」場を作るとともに、その活動を支援する。

また、海草など、海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素に着目した「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」によるクレジットを購入することで、博多湾の環境保全活動を支援する。

② 電動化・再エネ活用推進事業

脱炭素へ向けた取組みの一環として、業務用軽車両の電気自動車への計画的な切替えを進めるとともに、使用電力は再生可能エネルギー由来電力を調達する。

また、業務用特殊車両の電動化については、最新情報を適宜収集し、早期導入の検討を進める。

Ⅱ 収益事業（各事業の予算額は、法人会計への区分額を含む。）

1 土地貸付等事業

当年度予算	前年度予算
2,942 千円	2,726 千円
(19,193 千円)	(19,193 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

(1) 土地貸付事業

旧西営業所用地について、公益目的事業の推進に資するための安定的な財源を確保するため、事業用定期借地権の設定による土地貸付を行う。

(2) 雑収入

団体保険料事務費及び自動販売機販売手数料等の収入。